

# 木協通信

第48号  
発行年月日  
平成28年11月1日  
日田市南友田100-1  
日田木材協同組合  
総務企画委員会発行  
TEL24-2167

今後木造建築の普及のため、このようなセミナーが継続されるよう取り組みを進めたいと考えています。

## ☆日田木材協同組合百年を語る

それに伴って、日田材の輸出が増大したことはもちろんである。大川は日田から約六八キロ、筑後川河口の港町として古くからさかえている。

大川木工業の歴史について

大川指物の沿革は明確ならざるも、古寺の記録並びに古老の言を総合すると、後奈良天皇の天文五年、榎津遠江守の弟に長碩和尚と云う者あり、薙髪するに及び家臣数名に大工職を学ばしめたるに起因せるもの如し。

次いで、享保年中に大川町の建築大工で建具製造をしていた田上嘉作が久留米紺屋町で箱物の製作法を修得して更に長崎に行つてオランダ人から洋家具の製作法を学び家具の製作技術を発展せしめた。

降って、文化・文政の頃漸く指物製造に従事する者出ずるに至りたりも、当時榎津、向島、酒見、小保に於いて僅かに数十名に過ぎず、仕事は水車製造が中心であった。

明治維新に及び需要の増加に伴い、営業者の数多きを算し榎津指物として汎く世に知らるるに至れり。

明治二十二年同地方を大川町と改称せらるるに及び大川指物の名頭われ販路の拡張に従い」と。

次号へ続く

## ☆木造建築推進セミナー

本年6月4日から開催して参りました、セミナーにつきまして、9月17日の現地研修を最後に、延べ9回にわたる講義等が終了しました。当日は16時30分から塾長を務めていただきました安藤直人先生から、卒業生10名に修了証書が手渡されました。

受講された皆様から、木材のことや中大規模の木造建築の設計に大いに参考になったとの感想が寄せられました。第1期生と合わせて23名の方が研修を終えられました。



## ☆プロポーザル方式による

### 設計者発表会

木造建築推進セミナーの研修生を対象とした、新しい木協事務所等の設計者を決めるため、プロポーザル方式による設計案の発表会を去る9月18日の日曜日に2階会議室にて開催しました。当日は組合員の方も多数参加されました。発表会には5組6案が提案され、それぞれ個性ある案を発表していただきました。

その中から役員会の協議を経て、(有)アーキワークス・Tellus建築設計室に決定しました。

ちなみに、この事務所は二年連続してセミナーに参加いただいています。



## ☆大山祇神社大祭

9月23日、大原八幡宮に於いて、大山祇神社の大祭を執り行いました。

大分西部森林管理署長秋山様を始め、来賓の方々にご参拝いただきました。

また、本年は、昭和31年に奉建され60年目に当たり、傷んだ所の修復や家紋の付け替えを行いました。組合員の方々もお参りの際にはご覧ください。



## ☆恵良土場視察

10月7日の午後、役員による恵良土場の工事状況を確認するため、視察を行いました。国道からの入口3か所も完成しています。埋め立ては下流側が少し残っているだけで、9割程度は順調に工事が終了しています。今後は借地場として、さらにPRを進めて参ります。

## ☆製材工場安全パトロール実施中

労働基準協会と木協の合同にて、林業・木材製造業労働災害防止協会の石川さんと共に、製材工場の安全パトロールを行っています。災害の起きないよう注意・指導をしています。

今後も安全パトロールを巡回して参りますので、組合員製材工場の巡回の際には、宜しくお願い致します。

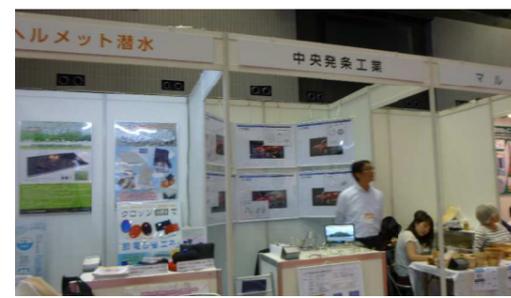


## ☆モノづくりフェア2016

モノづくりフェア2016が、マリンメッセ福岡で、10月26日〜28日に開催されました。

日田工業連からは、10月26日に12名参加しました。多くのブースが出ていて、それぞれのメーカーが、とても活気づいていました。

日田からも中央発条工業株式会社、マルゲン株式会社などが出展していました。ネジひとつから車まで幅広い分野の出展でした。当日は、福岡の工業高校の生徒さんも講演を聞かれたり、表彰なども執り行われていました。今、何か必要だから見に行く」という事も大切ですが、百聞は一見に如かずで、何か！と出会う場所として「このようなイベントに参加する事は有意義な事だと感じました。 総務課 新原富士子



## ☆お知らせ

### ○平成28年度木づかい促進事業

27年度に引き続き、今年度も日田市から木材等のプレゼント事業を受付しています。10月31日現在の受付状況は、新築85件(100件中)、リフォームが137件(230件中)です。

事務局 日田木材協同組合 小関・川原